

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成27年度第8回水戸市行政改革推進委員会
- 2 開催日時 平成27年11月20日（金）午前10時から午前10時40分まで
- 3 開催場所 本庁舎南側臨時庁舎2階大会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
小野修一郎，軍地美代，小林照穂，鹿倉よし江，高島和子，谷口孝悦，田山和子，
福澤真一，保立武憲，馬渡剛，宮下有一（氏名五十音順）
 - (2) 執行機関
高橋靖，川上悟，堀野辺直，山田政則，深谷晃一，吉川彩美，宮本陽子
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 答申書の確認（公開）
 - (2) 答申（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数
- 8 会議資料の名称
 - (1) 答申書

9 発言の内容

○ **事務局** 本日は、お忙しい中をお集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、第8回水戸市行政改革推進委員会を開催させていただきます。本日は答申書について御確認いただいた後、市長への答申を行う予定となっております。初めに、本日の欠席委員について御報告させていただきます。____委員、____委員、____委員、____委員が、都合により、欠席とのことでございます。本日の出席者は11名でございますので、本委員会は、定足数に達しております。それでは、行政改革推進委員会条例第6条に基づき、____委員長に議事進行をお願いいたします。

○ **____委員長** それでは、会議次第に基づき議事を進めることといたします。水戸市附属機関の会議の公開に関する規程に基づき、会議録の公開が後日必要となりますので、会議録署名人を指名させていただきます。____委員と____委員をお願いいたします。本日はNHKから会議の撮影を求められており、これを許可しておりますので御了承願います。なお、本日の昼のニュースで放映される予定となっております。

では、審議に入りたいと思います。答申書については、委員長一任ということで了解いただいたところですが、第7回委員会における審議結果に基づき、事務局と相談した上で作成させていただきました。事務局から修正点について、説明をお願いします。

[事務局説明]

○ **____委員長** ただ今、答申書について説明がありました。前回頂きました御意見を踏まえた修正がなされていると思いますので、特に問題はないということでよろしいでしょうか。

[意見なし]

○ **____委員長** 次に答申に移りたいと思います。ここからは一度事務局に進行を移します。

○ **事務局** これより答申に移りますが、市長がまだ到着しておりませんので、しばらくお待ちください。

[委員長・副委員長の席の移動及び市長席準備]

○ **事務局** それでは、____委員長から高橋市長へ、水戸市行財政改革プラン2016の策定についての答申を行います。____委員長よろしくをお願いいたします。

[答申書提出]

○ **事務局** それでは、市長から御挨拶を申し上げます。また、その後、市長と皆様との意見交換の時間を20分程度設けさせていただきたいと思います。

○ **市長** このたびは____委員長を始め、委員の皆様には慎重な審議をいただきましてこのような素晴らしい答申を頂きましたこと心から御礼と感謝を申し上げます。まさに、答申の中にもうたわれておりますけれども、私たち水戸市としては超高齢社会と人口減少という大きな変化の波の中でいかに価値観を変えていくか、従来の状況からいかに脱却した新しい取組をやっていくかということが重要であるという認識をいたしているところです。また、そういった中で4大プロジェクトを抱えていることから、この答申にもあったように、財源の裏付けであるとか、事業の進め方であるとかを全て見える化を行って、市民の方々に御理解をいただきながら進めていくのが重要なことであると思います。しっかりその辺りのことを、この答申を踏まえて取り組んでいきたいと思ってお

ります。

昨日、休日夜間緊急診療所の運営について、大学病院の先生と懇談をしてきたのですが、小児救急の分野において小児科の先生が高齢化を迎えていまして、夜間救急に対応するのが厳しくなってきました。何とか 25, 6 人の先生で回しているという状況です。例えば、小児科の先生の平均年齢が 60 歳を過ぎているものですから、5 年後でさえ 70 歳代が小児科の先生で半分となってしまう、持続可能な休日夜間緊急診療所にはなりえなくなってしまう。いろいろと医師派遣の件についてお願いをさせていただいたところですが、医師派遣となると無料では済まず、それなりの経費がかかってくるというところでもあります。

さらに、まもなく事業者の選定に入るところなのですが、今年も保育所が 3 園と、新しい取組として小規模の保育所 3 園ということで、既に私が市長になってから 9 園の保育所に対して認可を下しているところで、そのうちの 7 園が開園をしています。さらに今年 3 園と小規模保育所を 3 園、これらを全部開園するとなると、1 園当たり普通の保育所であっても 2,400 万円から 2,500 万円の補助負担がかかってくるわけですが、それが 15 園で何億とかかかってきます。その分が経常経費として増えてくるということでもあります。

また、子育て支援の医療費の無料化を中学 3 年生まで拡大したのですが、所得制限を設けているというのが水戸市と 41 市町村の内 13 くらいしかありません。そういったこともお母さんたちから所得制限を撤廃すべきではないかということも言われていますが、所得制限を撤廃すると、また億という額になってきてしまいます。これを今検討しているところなのです。最近連絡が多かったのはインフルエンザの補助費のことですが、今年種類が増えて 1,000 円くらい上がっています。子どもと高齢者の方に補助金を 1,000 円ずつ出しているのですが、他の自治体では 2,000 円のところもあったり、東海村のように裕福なところは無料になったりしていると、他の市町村と比較をされて、水戸市はどうなっているのかと指摘をされていることがあります。ただ、補助金や助成金は一回やりだすとやめられないところがあり、覚悟が必要です。そういった子育て支援の所得制限の撤廃だとか、インフルエンザの補助金の増加だとかが経常経費化していくということで、全体の収入が変わらない中で経常経費を増やしていくということは、何かを減らしていかなければいけないということになってしまいます。より行財政改革をしっかり進めていかなければ、子育て支援や高齢化社会への支援といった経常経費化してくものに対応できなくなってしまいます。

これから人口減少と超高齢社会という二つだけでもいろいろな課題が出てきます。例えば、人口減少による空き家対策が必要になってきます。空き家対策の特措法が出てきて、市町村でいろいろな権限が生まれています。権限が生まれるということは責任が増えるということです。法律ができたのだから水戸市が強制執行してくださいと市民から言われるのですが、代執行したところで遠くに住んでいることもある相手の方にお金を頂けるかといふとなかなか頂けません。市民の方々は、環境が悪くなるから行政に撤去してほしいと言われますが、裏腹にあるのは市民の税金を使ってやっているということです。そういった空き家問題も場合によっては予算化しないといけないということもあるかもしれません。そのように人口減少、超高齢社会で施策が生まれていってそれが経

常経費化していってしまう状況です。経常経費がこのように増えていくことによって、財政が硬直化していってしまいます。もちろん子育てや高齢社会という大事な施策については経費が上がってしまってもやむを得ないところはありますが、中長期的なお金の動きがどのような増減があるか、中長期的な考え方をもち行政運営をしていかなければならないという認識をいたしているところでもあります。

それとまち・ひと・しごと創生も御指摘をいただいております、地方創生を受け止めていくために、必要な経費が生まれております。そういったことともバランスをとっていかなければならない中で、いかにこの限られた中で地方創生の波に乗っていくか、まち・ひと・しごとの総合戦略がまもなく出来上がってくると思いますので、整合性を図りつつ財源の裏付けを持って新しい施策の展開を行っていきたいと思っております。

いずれにしても、この答申を踏まえて職員一丸となって行財政改革に取り組み、市民の安全安心の実現に努めていきたいと思っておりますので、____委員長始め、委員の皆様方と協働で進めていきたいと考えておりますので、引き続きの御指導、御鞭撻をいただきますようによろしくお願いいたします。

- **事務局** 引き続き意見交換の時間といたしますので、皆様御自由に意見交換をお願いします。
- **____委員長** 我々の委員会では2点ありまして、市長も冒頭でおっしゃられていた四つの大型プロジェクトにかかるということ、あるいは5年から8年に変わるということで総合計画の長期化ということで、より丁寧な審議にするということを第一に行いました。8回の会議を行いましたけれども、1回当たり大体3時間程度の審議を行いました。もう一つは、我々の委員会はそれぞれの議論によるもの、つまり合議体であるという趣旨のものでありますので、これで十分であるとは申しませんが、丁寧な議論をし、皆様の議論の中から審議しました。
- **市長** ありがとうございます。様々な指摘がここにありましたので、委員長からもありました、大型プロジェクトについて市民の皆様の中でも賛否両論上がってきているのも現実にありますし、お金の面に関して御心配をいただいているというのも事実です。広報との打合せもさせていただくのですが、例えば新体育館もやっと全容が見えてきて、財政計画を議会の特別委員会にも示させていただいたところで、そういったことも広報みとでイメージ図を使って、どうしてこういう整備をするのか、整備をした後、行政だけではなくて、どのような利活用を図って施設を使っていくのか、街にどのような効果があるのかということをお示しする文章を今日読み合わせしました。その中でも、お金についてはどういうところから調達をするのか、実質水戸市の財布からどのくらい持ち出すのか、実は半分以下ですということを、国からの交付税措置の名目まで入れさせていただいて、広報みとで近いうちに掲載させていただいて皆様の手元に届けようと思っております。財政計画、事業の内容をできるだけ細かく市民の皆様にお知らせをするようにしていきたいと思っております。

特に、市役所新庁舎が具体的に進んできておりまして、実施設計の段階に入っております。実施設計の段階で、多少今までよりも実質負担を減らすことができるかなと思っておりますし、先般、高市総務大臣のところへ行ってきまして、補助金を13億円ぐらいかさ上げしていただきました。その分被災措置の方が減らされる分があるので実質増え

たのは4億円ですけれども、そういったところも市民の皆さんに分かるように、引き続き市役所の整備の財源の在り方、どのように調達して実質どのくらいなのかというのを示していきたいと思っております。それは市民会館においても清掃工場においても、全て財源の措置については順次明らかにしていきたいと思っておりますし、特に市役所と清掃工場は絶対的に必要な施設ですから、市民サービスや防災の拠点として、必要性は市民の皆様理解いただいていると思います。ただし、財源の確保であるとか、設計上贅沢にしないということであるとか、示していかなければならないと思います。

ただ、一方で体育施設や文化施設というのは、どの時代もどこの自治体も作るようになったら賛否両論あって、必要ないという人は必要ないですし、必要だという人は必要ですし、いろいろな意見が出てきています。きちっとした財源の確保とともに、必要性和何をそこでやるのか、その結果、水戸としてどのような街が生まれてくるのか、何が導き出されるのか、そういった展開まで広報すべきと思っておりますので、その辺りにも留意していきたいと思っております。

- **___委員** 委員会でも議論させていただいたのですが、今度の改革プランは長期にわたっている計画です。従来は中期計画だったのですが、今回は長期にわたりますので、数字として表せないところもあると思いますが、改革プランを進めていく結果として財政見通しが数字としてどのように変化していくのだろうかということについて、水戸市民も関心のあるところだろうと思います。水戸市は大丈夫なのだろうかと市民も心配しているところだろうと思いますが、それを今回大きなプロジェクトを抱えているが故に、将来の財政見通しを長期にわたって見通すのは非常に難しい状況であるというところで、今回は残念ながらこの改革プランに中長期の財政見通しというのは数字としては表れていません。ただ、文章としては表現されていますが、数字としては表現できなかったという点が水戸市民の皆さんとすると、後でどういうふうになるのだろうかという疑問が出るかと思えます。プロジェクトの財源の収支見通しが見えてきたところで、長期にプランを進めていく結果として長期財政見通しはこうなるというのを、早期に市民に出していただきたいと思います。
- **市長** 市民の方々が、お祭りとかイベントとか出ている中で、問われるということがあります。今回、中長期的なビジョンを出すように指示させていただいて、その中で将来の借金や基金の残高も、新しい中長期的な財政ビジョンの中で市民の皆様方にお示しをして、それを策定して、また一冊の本や計画を作ると、市民の皆様方には見たことないと言われるので、常に広報であるとかホームページであるとか、いろいろな機会を活用して、市民懇談会の前に私が30分話をさせていただく機会を必ず設けさせていただいているので、その中でも具体的な数字を示させていただきますので、御指摘を踏まえて、特に新しく作る「みと財政安心ビジョン」の中で具体的な数字を入れ込んで、市民の皆様方に読んでいただくように広報を通じてPRをしていこうと思います。また何かありましたら御指摘をいただければと思います。
- **___委員** 今年も保育所を3園追加するという話がありましたが、慢性的に保育士が不足しているので、国の政策から子育て支援研修というのをやっています。そこで各市町村でどれだけ集まるのかと思っていましたが、結構応募する方がいらっしゃいます。そういう方は研修をしても、保育士の資格が取れるわけではないのですが、保育士の下

で従事する職に就けるという位置付けがあります。保育所を作るためには、子どもが安心して通えるような人材を雇用、活用していただくという方向を見ていただくと、水戸市ばかりではなく、県全体の各市町村の制度の取入れをしていただくと、子育ても豊かになるかなと思います。

○ **市長** 分かりました。人材雇用もダイバーシティ化を図って、多様化していかなければならないと思っております。保育所の仕組みというのは、水戸市の場合には民間の社会福祉法人にお任せするというパターンです。水戸市立保育所については老朽化したものは河和田や若宮で近年建替えをしましたが、水戸市立保育所というのはこれ以上増やさないということになっております。そうかといって、縮小していくというのは慎重にしている状態です。いろいろな保育政策をするに当たって現場から出てくるものはありますので、現場を全て失うというのは私としてはいかがなものかなという思いがあるので、そうかといって、民間保育所よりも水戸市の保育所というのは運営費がかかってしまうというところもあります。その辺りのバランスを考えながら、私たちが持つべきものと民間にお任せすべきものと、適正配置や運営の方法をもう少し詰めていかなければならないのですが、これ以上は増やすことはないということで、民間保育所にお任せしています。社会福祉法人に許可を下す形で年間三つほど選ばせていただいて、国から県に一回入って安心子ども基金というのがあるのですが、それから大体1億5千万円くらい補助金を貰って、2億3～4千万円の建物を建てて、運営をするということになっています。幼稚園や保育所の運営というのは年間1億円くらいかかるとして、そのうち保護者から入るものというのは3,500万円くらいになります。残りの6,000万円くらいを国と県と市で分け合うということで、大体先ほどの1園当たり2,300万円から2,400万円くらいを水戸市が毎年負担しているものですから、10年で2億3千万から当然経常経費としてかかってきます。それにしましても、自分たちで1園持つよりは経費も安いものですから、そちらを選択しておりますし、民間のアイデアや機動力で人材を登用していただいたほうが有利なので、水戸市の場合には職員という固まった人材ということしかできないですから、民間ですといろいろな雇用の仕方があるので、そちらにお任せさせていただいております。民間の保育所がほとんどになってきているのですが、そういった中で有効な人材の活用方法についても保育所の連絡協議会といったものもありますので、協議をさせていただきたいと思っております。それはどういうものですか。資格がなくてもできるものなのですか。

○ **委員** 資格がなくても地域の子育てに興味のある方も、資格のある方も更にスキルアップしたいということで応募している方もいます。それが専門講座で細部に分けていろんなコースを選べるようにしてあります。そういった方法で自分はこういうふうになりたいという研修をして、主にはなれないのですけれども、サポートするという形で生かせるのですが、事業主さんが人材が欲しいですよとってくださいらなければせっかく研修しても生かすことはできないのです。その点がまだ知られていないところもあるので、その辺りを広めていただくと有り難いです。

○ **市長** 担当がそれについて押さえていると思っておりますので、そういった方々を現場で活用できるか、指示したいと思っております。と同時に、私たちが困っているのは、同じ子育てでも開放学級指導員が集まらないということです。本当はもう少し夜までやりたいので

すが、9時～17時で帰ることのできる方は少ないですから、19時とか、遅くまで預かりをしたいのです。いろいろと不安材料があるので本当は小学校6年生までやりたいのですが、今は小学校3年生までなのです。小学校4年生からは家に帰って留守番してくださいということになっています。小学校4年生、5年生、6年生でも親御さんは心配なこともありますので、今年から6校始まったのですが、人がいない、専用の棟がないということで、6年生まで預かれない状況なのです。やがては32校全てで小学校6年生まで開放学級をお預かりしたいということで、平成31年に全員を預かれることを目標に専門の棟の建設をやっていきたいのです。これも先ほど言ったように経常経費化してくるのですけれども、そうすると指導員の確保を図っていかねばなりません。しかし、そういった仕事は子育てが終わった方々が指導員になってくださる例があるのですが、ちょうどその時間は家事が一番忙しい時間ということで、ほとんどが女性なものですから、働いてもらうということが人材確保の面で難しいところがありまして、ぜひそちらの方の人材がいれば有り難いなど思っているのですが、苦慮をしています。

- **___委員** そういったコースもあるので、多分指導もされていると思います。
- **市長** 是非そういった仕事があるということ、ネットワークで言っただけだと有り難いです。
- **事務局** 時間になりましたので、以上をもちまして、答申を終了としたいと思います。なお、高橋市長はここで退席をさせていただきます。

〔市長退席〕

- **事務局** それでは、引き続き、___委員長に進行をお願いします。
- **___委員長** 皆様お疲れ様でした。今回を持ちまして、平成27年度の行政改革推進委員会は終了となります。本日の議事は終了となりますが、その他、事務局から何かありますでしょうか。
- **事務局** 今後の行財政改革プラン2016の策定スケジュールについてですが、本日の答申を踏まえ、プラン（案）の修正を行い、市長を本部長とする水戸市行政改革推進本部において、最終決定をしまいたします。今年度の行政改革推進委員会については、これで終了となります。来年度から進行管理を行うこととなりますので、引き続き御指導、御鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。
- **___委員長** 委員の皆様におかれましては、毎回長時間にわたる審議お疲れ様でした。それでは、第8回行政改革推進委員会を終了いたします。ありがとうございました。